



Live with a Smile

笑顔で生きる

白山中 学校だより
令和 7年 3月24日

卒業生が旅立ちました



3月7日(金)に、「第76回卒業式」を無事に終えることができました。保護者・来賓の皆様におかれましては、多くの方々にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

厳かな雰囲気の中で行われ、一人ひとりが丁寧な所作で卒業証書を受け取ったり、お辞儀をしたりする様子は本当にすてきでした。式の最後には、「VIVA白山フェスタ」や「3年生を送る会」で披露してきた合唱曲『道』を歌いました。こらえきれずに涙を流している卒業生の姿が大変印象的でした。「つながり学年」らしい温かい雰囲気に囲まれながら、これ以上ない『笑顔』で旅立っていきました。卒業生の皆さんの更なる成長をこよりお祈りしています。

答 辞

※原稿を一部抜粋、改稿

「つながり」という学年目標の下、仲間たちとたくさんの日々を紡いできました。このつながり学年で過ごした月日は、とても色濃く、幾重にも重なり、私の脳裏に焼き付いています。

二年生の夏、稲武野外学習へ行きました。稲武のメインイベントといえば、キャンプファイヤー。実行委員が考えたレクもダンスも大盛り上がり。みんなで『キセキ』の大合唱をし、この仲間と出会えた奇跡、この仲間と歩んできた軌跡を、これからも大切にしていきたいと思いました。

中学校生活の一大イベントである修学旅行。とにかく楽しみが止まりませんでした。USJでは、おそろいでカチューシャを買って嬉しかった。ホテルの部屋から見える景色がすごくきれいだった。どれもこれも大切な思い出です。

仲間との結束を強め、迎えた中学校生活最後のスポーツフェスティバル。タオルを振って応援してくれる友達の姿が、すごく嬉しくて、励みになりました。クラス全員リレーの前に全員で円陣を組んだり、教室で集合写真を撮ったり、急にダンスバトルが始まったり、みんながいつそ一つになれた瞬間でした。めちゃくちゃ楽しかったです。

待ちに待ったVIVA白山フェスタ。最後のVIVAの指揮台で抱いた思い。それは不安ではなく、自信と寂しさでした。このつながり学年の仲間とともに作り上げた『道』への自信と、この仲間と過ごす時間に区切りが近づいていることへの寂しさ。みんなの眼差しが自分に向けられた瞬間、これまでのみんなの思い出が蘇ってきて、涙があふれそうになりました。みんな、あの日の合唱は間違いなく、これまでで一番だったよ。

在校生の皆さん、先日3年生を送る会、とても楽しかったです。本当にありがとう。中学校生活は、長いようで、あっという間に過ぎていきます。だから、自分と正直に向き合って、一つ一つの選択に悔いが残らないようにしてください。そして何より、今、自分の周りにいる仲間と過ごす時間を大切にしてください。皆さんのこれからの中学校生活が、笑顔で満ちあふれることを願っています。

いつも親身に接してくださった先生。先生たちはみんな優しく、ノリが良くて、いつも私たちを笑顔にしてくれました。いつも真剣で、時には、しっかりと叱ってくれました。私たちの可能性を信じ、ずっと向き合ってくれました。最高の先生方の下で学べたこと、心から幸せに思います。三年間、本当にありがとうございました。

いつも誰よりも側で支えてくれたママ。私がしたいことをいつも応援してくれて、ありがとう。進路を決めるとき、たくさん悩み、現実を知り、また悩みました。でも、いつも背中を押してくれて、誰よりも応援してくれたのはママでした。これからもお世話になるけれど、少しずつ返返しをしていきます。これからもよろしくお願いします。

つながり学年のみんなへ。みんな優しく、一緒にいると楽しくて、みんなに会えて本当によかった。どんなことにでも一つになれる、まさに「つながり」を体現した学年。そんなつながり学年の一員でいられたことを、私は誇りに思います。みんなと紡いだつながりを私は一生忘れません。つながり学年、大好きです。本当にありがとう。



人権学習発表会

3月19日(水)

会の冒頭では、生徒会から人権とは何かを改めて確認しました。人権とは、「幸せに人間らしく生きていくための」権利…それを白山中学校の努力目標「笑顔で生きる」権利に置き換えて、分かりやすく説明する映像が流れ、各学年の発表へとバトンが渡されました。

次に、卒業した3年生からの映像による発表がありました。学年目標「つながり」をテーマに、『わたしにとってのつながり』というタイトルで、一人ひとりが仲間と共に思いを表現しました。自分たちを支えてくれた『仲間とのつながり』や『家族とのつながり』への三年間の思いがあふれていました。

続いて1年生の発表がありました。テーマは「きらきら」。不安や緊張といった気持ちで入学してからのこの一年間を振り返り、自分自身が頑張ったことや仲間のすてきな姿を各班に分かれて発表しました。特に、校外学習や、“つるまプロジェクト”では仲間と協力することの大切さや、頑張って取り組んだ先に味わえる達成感など、それぞれが気付いた「きらきら」を振り返りました。また、最後にはこの一年間の“My きらきら Moment”と“2年生に向けた決意”を一人ずつ発表しました。様々な活動を通して見られた自他のよさを見つけ、認め合う姿に、みなさんの大きな成長を感じました。



【各学年の発表の様子】



2年生の発表テーマは「いろいろ～尊重しよう自他のいろ～」。1年時に発見した自他のいろを尊重し合おう、つまり、自分だけでなく、他の人も大切にしようという思いをもって一年間を過ごしました。道徳の時間を通じて考えたことや日常生活に活かしたこと、“Hisayaプロジェクト”で自分の住む地域の施設やその利用者のことについて考えたことが発表されました。他者の立場を考えたり、良さに気付いたりするたくましい姿から、まもなく最高学年になる自覚を感じました。

どの学年もすばらしい発表であったと感じるとともに、一人ひとりの人権感覚が着実に豊かになっていることを白山中学校全員で実感することができ、とても有意義な温かい会になりました。

人権は「誰もがもっていて、奪うことも奪われることもできない権利」です。その権利を守るには、他者を理解することが必要です。ただ、他者の気持ちというのは、目には見えないものであり、全てを理解することは難しいことだと思います。だからこそ、発表会で皆さんが取り組んだように言葉で伝えたり、文字で書いたり、絵や映像で表現したり、様々なコミュニケーションツールを駆使して、できる限りの「想像力」を働かせ合い、互いに“理解しようとする気持ち”をもつことが大切だと思います。これからも全ての人の『笑顔』を大切にしながら、「笑顔で学び 笑顔で生きる」学校、そして社会を実現していけるよう、ともに高め合い、成長していきましょう。

1年生 総合的な学習

つるまプロジェクト

1年生では、鶴舞公園の事業所の方に協力していただき、“つるまプロジェクト”として、「鶴舞公園について知る活動」「鶴舞公園のパンフレット作成活動」「作成したパンフレットを鶴舞公園の事業所に送る活動」を行ってきました。“つるまプロジェクト”を通して、地域とのつながりを深めたり、仲間と協力して課題を解決したりすることができました。今後も継続していく予定です。



【パンフレット作成の様子】